



第2660地区



WEEKLY REPORT

大阪船場ロータリークラブ

OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

創 立 昭和63年(1988)5月23日

事務所 大阪市中央区西心斎橋 1-7-3 (〒542-0086) 北炭屋町ビル
Tel. (06)6244-1008 Fax. (06)6244-1010

Web: <http://sembarotary.club/> E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp

例 会 毎週月曜日・12時30分

ホテル日航大阪 Tel. (06)6244-1111

会長: 澤田 宗久 幹事: 岡本 茂 会報広報委員長: 日比 敬史

四つのテスト／言行はこれに照してから

I. 真実かどうか II. みんなに公平か

III. 好意と友情を深めるか IV. みんなの為になるかどうか

第1222回 例会 2015年(平成27年)12月14日

(疾病予防と治療月間)

本日のプログラム

(本日のプログレス 北野 克己 SAA)

- ロ-タリ-ソング 「奉仕の理想」
- 会長の時間 ◎ 幹事報告 ◎ 委員会報告 ◎ ニコニコ箱報告 ◎ 出席報告
- 例会・年次総会 31階「カトレア」17:00～
- 年末会員家族懇親会 32階「スカイテラス」17:50～

前回(12月7日)例会記録

◇プログレス 片岡 清夫 副SAA

1. 来客紹介 藤野 英男 親睦委員

ゲスト:1名 地区外:1名 地区内:5名 合計:7名

ゲスト:来日学生 ジャシユア シェクター君

2. 12月お誕生月会員お祝い

- 12月 1日 (渡辺 忠之 会員)
- 12月 3日 (岡本 真太郎 会員)
- 12月 8日 (岡本 茂 会員)
- 12月 8日 (岩崎 寿英 会員)
- 12月11日 (甚田 隆康 会員)
- 12月12日 (今泉 忠亮 会員)
- 12月13日 (新川 晃生 会員)
- 12月18日 (松谷 廣信 会員)



3. 会長の時間 澤田 宗久 会長

国際ロータリー第2660地区の地区大会が12月4日から5日まで、リーガロイヤル・ホテル大阪国際会議場で開かれました。RI、ロータリー会長のK.R.ラビンドラン氏は『地区大会はクラブから離れ、他クラブのロータリアンと交流して、エネルギーを蓄える機会です。また、日常の責務からも一歩離れ、ロータリーに浸ることで、現在の自分の状況を確認し、今後の方向性を

考える数日間でもあります。さらに、入会した会員がロータリアンであることの価値を実感し、クラブに貢献できるようにする必要があります。』と言っておられています。

国際ロータリー第2660地区がガバナー立野純三氏は、『戦略計画委員会を各クラブに発足して頂き、それぞれに合った重点テーマを中・長期で検討して、必ず結論を出し、変革をしてもらい、魅力があり、活力があり、楽しいクラブが過ごせるようにして頂きたいと考えます。』と言っておられ、その為に、大会決議案を提出され、会員一致で採決されました。

「決議第10号」時代に合った拡大増強を推進する件、の中で、『各クラブの中・長期計画を策定する戦略計画委員会の活動を活発に行うことで、会員増強に繋げて行くことを決議します。』とあります。

この様に、戦略計画委員会は、クラブにとっても重要な会議であります。船場RCもガバナー方針に従って、いち早く戦略計画委員会を立ち上げて、毎月理事会終了後、夜に会議を開き、今後のクラブの方向性を決めています。委員会のメンバーの皆様には認識を新たに、出席して頂きたいと思っています。

会議の内容は随時、ご報告していきます。議事進行は順番制にしています。今日の担当は、新川会長エレクトです。

来月はパスト会長の小島さんをお願いしていますので宜しくお願い致します。

RI会長代理、水野正人氏は『日本での高齢化の波は確実にロータリーにも影響を与えています。歳を重ねたメンバーが若返る若い気を持って、元気潑刺と奉仕活動や親睦活動を進める事が、ロータリーを活性化する「変革」になるのではないかと考えています。又、自分のできる範囲内でベストを尽くし、人に頼まれたら嫌と言わず、喜んで人の為にやるのがロータリアンであります。のびのびとして、自然体でロータリー活動を行って下さい！』と述べておられました。

地区大会は、RI、並びに地区はどのような方向性で歩もうとしているか？知るとても良い機会であるます。

我々船場RCにとっても大変勉強になったと思いました。

これからも、新人会員はもとより、多くの会員が地区大会に参加して頂き、その良さを味わって下さいますようお願い申し上げます。特別シンポジウム“究極の職業奉仕”の講演がありました。

「関西発の医療イノベーションー最先端研究から創薬へ」

基調講演①『免疫難病医療ー大阪から世界へ』 大阪大学名誉教授 岸本忠三(ただみつ)氏

貴重講演②『がんは治る:がん免疫治療薬PD-1抗体』 京都大学名誉教授 本庶 佑(たすく)氏

我々にとって、身近なテーマでもあり、最先端の医療のお話を聴かせて頂き、大変興味深い御講演でありました。

【大阪フレンドRCでの卓話】

2015年7月11日～20日まで、バヌアツ共和国・タンナ島での国際歯科医療奉仕活動に行って参りました。

今回の目的の一つは2660地区からご寄附頂いたサイクロンの義援金の使途についての会議がありました。

首都ポートビラRCとのメンバーの方々とのミーティング行い、実際にどんな支援や物資を必要としているのか、活発なディスカッションを行いました。今年3月13日に大型サイクロンがバヌアツに到来して多くの家屋が倒壊し、甚大な被害を被ったバヌアツ・タンナ島に、日本にいる我々が何かできないか・・・と思い、2660地区の泉ガバナーに連絡を取り、義援金の要請を行いました。私は、6月1日に325万円の金額を送金して頂いたことを確認し、7月13日にポートビラRCより直接、領収書を頂きました。2660地区の要望として、一番被害の大きかったタンナ島の住民の為に公共施設・小学校・病院の再建などに、義援金を活用して頂くように、依頼いたしました。その結果、我々が長年考えていた「小学校におけるウォータータンク・プロジェクト」です。山奥の小学校でも、子ども達が自由に水を飲むことができ、怪我をしても傷口を洗えない、手を洗うことすらできなかった状態から、環境の整備・衛生面の改善に繋がる我々の計画を実行に導きました。具体的に5校の小学校を指定し5個のウォータータンクをポートビラから運びます。又、タンナ島には、唯一レナケル病院があり、その被害も酷かったので、義援金の残りの半分以上を病院の再建に使用することも、ポートビラRCと話し合いで決定致しました。その後、タンナ島での本業の歯科治療をレナケル病院で沢山の患者様を診療し、学校健診や小学校巡回歯科治療も行ないました。我々は、9年前から小学校で授業を行っています。八尾市立竹淵小学校とレナケル小学校との生徒同士の文化交流の橋渡しの役割もしています。今回は糸電話を作り合い交換・交流をはかりました。先週の25日(水)に八尾の小学校に於いて、「サイクロンからの復興」についての授業を行って参りました。子ども達に、携帯やテレビやゲームがなくても、物があふれていなくても、幸せを感じている現地の子ども達の価値観を少しでも感じ取って欲しいと願い、未来に向けて夢とロマンを与える授業を心がけています。

人生は・・・ingであります。決して過去を振り返らず今を大切に現在進行形で絶えず前を向いて歩いていく。

ロータリーとは、奉仕と親睦であります。たえず奉仕の精神で歩んで行きたいと願っています。

4. 幹事報告 岡本 茂 幹事

- ①本日、例会の後、本年最後の理事会です。また本日、6時30分からは第4回目の戦略委員会が開催されます。関係者はご出席ください。
- ②来週の例会は、ご案内の通り12月14日（月）の午後5時からです。例会終了後引き続き、年次総会が開催され、この後クリスマス会になります。クリスマス会のスタートが5時50分ですので、総会は5時40分頃には終了できますようご協力ください。また、本年最後の例会は12月21日（月）です。お間違えのないようにお願いします。
- ③新年例会は、1月12日（火）です。理事会が4時から、例会は5時からになります。また、引き続き同じ場所で6時から会員懇親会が開催されますが、会場が、北区西天満の料亭 芝苑（しえん）になっています。
- 本日、メールボックスに出欠の案内を入れております。地図を参照の上、お越しく下さい。

5. 委員会報告 職業奉仕委員会 清水 清一 委員長

先に、社会奉仕委員長より報告がありましたように、12月17日実施予定の開平小学校生徒の社会学習における企業訪問の件ですが、校長先生よりこの取り組みについて学校としての受け止め方や意義などを書面で頂きました。

皆様のメールボックスに入れておりますので、必ずお読み下さい。

我々の取り組んで来たことがどのようなようであったか、さらによく理解できると思います。

今年度は参加会員を決めて頂きましたが、これからも継続していきますので、会員の皆様もその意図を汲んで頂き、出来る限り多くの方々が参加して頂けることを望みます。

6. 新入会員ご紹介 上月 環 会員



澤田会員ご推薦で入会された上月 環会員に澤田会長よりエンブレムが授与されました。

7. イニシエーションスピーチ 長沼 斉寿 会員



このたび、岡本真太郎様のご紹介で大阪船場ロータリークラブに入会させていただきありがとうございます。ございます。長沼斉寿と申します。よろしくお願ひいたします。

大学卒業後、IBMでの勤務を経て、2010年に独立し大阪市の天満でIT開発会社をしております。企業向け業務ソフト開発から最近流行のアプリ開発、皆様にとって親しみのあるホームページ作成のお仕事までさせていただいております。

一昨年から企業向けのメンタルケア、ストレスケアの事業を行っております。IT業界自体がうつの問題を抱えやすい業種ということもあり、当事者感覚をもってこの問題の解決に目下取り組んでおります。

ITを使った新しい働き方の提案とワークライフバランスの研究をライフワークとしながら、仕事だけでなく、趣味、家族、友人、社会貢献活動のバランスをもった生き方を心がけています。

諸先輩方のご指導を頂きながら、地域・社会貢献に取り組んで参りたいと思います。よろしくお願ひいたします。

8. ニコニコ箱報告 甚田 隆康 親睦委員

北野 会員……本日卓話です。よろしくお願ひします。

上月 会員……今日から一員にさせていただきます。よろしくお願ひします。

小島 会員……地区大会の本会議直前に急に左目が痛くなり、眼科へ行ったら結膜結石でした。決して吉兆の弁当を食い逃げした訳ではありません。

松永 会員……忙しいですが本日13:40より合唱の練習が国際楽器社で行っております。出来るだけご参加下されば有難いです。

渡辺、平山、中村、侯野、大嶋、井澤、長沼、沖、宮原、藤野、今泉、片岡、清水、新川、塩尻、松谷、甚田、伊藤、武田、各会員……上月環会員の入会を歓迎して。

渡辺、岡本(真)、岡本(茂)、岩崎、甚田、今泉、新川、松谷、各会員……12月お誕生日

渡辺 会員……12月創立記念日

中川 会員……12月結婚記念日

9. 出席報告 片岡 清夫 副SAA

会員総数 39名 出席率計算会員数 38名 出席会員数 33名 出席率 87%

第1218回(11月9日) 修正出席率 100%

10. 卓 話 「銭金の話やない」 北野 克己 会員



<藩 札>

慶長6年(1601年) 家康の時代に貨幣制度が統一し、金銀貨の発行をしたが、国内貨幣の流通量は不足がちで、商取引がスムーズではなかった。その上、銀貨を支払いに必要なだけ切って使う、いわゆる“切り銀”の使用が禁じられたので、端数の釣銭の支払が特に不便であった。

そこで、少額の銀貨が手元に不足していた時、当座の決済用として、紙切れに～例えば、「銀〇〇匁 預かり」～と書き、発行人指名と判を押して相手へ渡し、現金はある時払いの方法がとられるようになり、

こうしたことから、お札へと進展したのである。

各藩が、発行した札(ふだ)と呼ばれる紙幣が藩札である。通貨不足を補い、商品流通をスムーズにするため、あるいは、藩の財政の窮乏を救済する目的で、寛文元年(1661年) 家綱の時代に、越前福井藩が発行したのが“最初の藩札”で、以来廃藩まで、各藩が発行し、国産品買上げの支払に当てるなどして、藩の硬貨収入を図った。

その発行には 札会所や札座などを置いて、当時の富豪を札元とした。

<幕府の姿勢>

幕府は、藩札発行の動きに対して当初は、①発行高が少ない ②正貨不足を補う意義もある ③藩内限りの通用であるとの見方から、形式的許可ないしは、黙認の姿勢をとっていた。

しかし、藩札を濫発する動きが目立ち始め、物価上昇が顕著となるという弊害も生じ、さらに、非発行藩からは、藩内通貨制度を混乱させるとの不安、苦情の訴えが増えてきたとして、宝永4年(1707年)、藩札の発行・使用を全面的に禁止した。その結果、対外支払いのため兌換用準備銀のかなりを費消していた各藩当局は、藩札の正貨への引替えに苦慮。完全引替達成の藩は皆無に等しく、各藩内では物価が暴騰(広島藩では数か月で主要物価が8～9倍に)し、パニック状態に陥った。しかしその後、正徳・享保期に、幕府が、荒井白石の建議により実施した貨幣の品位引上げ(1714～15年)に伴う通貨圧縮の行過ぎから、通貨の流通量が急速に収縮し、デフレと藩財政の一層の窮乏化を招いた。このため幕藩は、貨幣増加政策に転換。

享保15年(1730年)、上記の藩札禁止令を解除し、多くの藩が藩札の発行を再開・増発に踏み切った。このようにして、幕末・維新時まで、幕府の濫発警告・抑制を伴いつつ、藩札を抱えた通貨体制が持続することとなったのである。

12月度理事会報告

平成27年12月7日(月) 於: 日航ホテル大阪 13:40～14:40

(議 案)

1. 11度会計報告

異議なく承認された。

2. ロータリー財団特別寄付の件

本会計と個人預金の合計で1人当たり170ドルとする。

また、ポリオ特別寄付として、個人預金から1人当たり50ドルとする。

3. 開平小学校からの社会学習受入れ(12月17日)について

6人の会員の協力により受入を行う。6人の会員は次の通り。

清水、新川、小島、沖、林、岡本真太郎(敬称略・順不同)

生徒の会社訪問時のお菓子と交通費は当クラブで支給する。

☆次回12月21日(月)例会予定

・卓話: 清水会員